

みずほマーケット・トピック(2018年11月16日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、週後半に下落する展開。週初12日に113円台後半でオープンしたドル/円は、NY市場が休場となる中、中国株が上昇し、下落して始まった日経平均株価も前日比プラス圏まで回復したこと等を材料にドル買い優勢地合いとなり一時週高値となる114.21円をつけた。しかし、欧州株が大きく下げたことから113円台後半まで反落。13日は前日の米株下落を受けて日経平均株価が一時700円超急落したことから113円台半ばまで続落したが、中国副首相が米国と貿易について再び協議を開始するとの報を受けて114円台前半まで反発した。その後はブレグジットを巡る報道に113円台後半を上下する展開。14日は2名の英大臣の辞任が伝わりポンド売りドル買いが優勢となる中で再び114円に乗せる場面も見られたが、英閣僚会議でメイ英首相は支持を得られるとの見方からポンド/ドルが上昇するとドル/円は113円台半ばまで急落。さらに、閣議後にメイ首相は声明を出さないとの報道を手がかりにポンド/円が下落する動きに連れ113円台前半まで続落した。15日は英ラップ EU 離脱担当相が辞任することが明らかになったことやクロス円の売りが強まる展開に週安値となる113.10円をつけたがその後反発し、本日のドル/円は113円台半ばで推移している。
- 今週のユーロ/ドル相場は、下に往って来いの展開。週初12日に1.13台前半でオープンしたユーロ/ドルは、米国の利上げ継続観測からドル買いが続いたことや、EU が予算を巡りイタリアとの対立激化を辞さない姿勢を示したことがユーロ売りを促し1年5か月ぶり安値となる1.1216をつけた。13日はブレグジット合意期待から下げ渋り、その後ブレグジット草案で合意と報じられると1.12台後半まで反発。しかし、イタリア政府が来年の財政赤字をGDP比2.4%と予想案の主要部分を維持しEU側の修正案定時に応じない姿勢を見せたことから1.12台半ばまで反落し、その後再びドル売りが強まると1.12台後半まで回復した。14日はイタリア財政に対する懸念が続く中、独7~9月期GDPが予想を下回り1.12台後半まで値を下げたが、短期的な買い戻しが急速に強まり1.13台半ばまで値を上げた。15日は英ハードブレグジット懸念から1.12台後半まで下落したが、グーブ英環境相が辞任と報じられるとユーロ/ポンドが上値を試す動きにユーロ/ドルは下値をサポートされ、一時週高値となる1.1363をつけた。本日のユーロ/ドルは1.13台前半で推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		11/9(Fri)	11/12(Mon)	11/13(Tue)	11/14(Wed)	11/15(Thu)	
ドル/円	東京9:00	113.97	113.84	113.70	113.80	113.56	
	High	114.08	114.21	114.14	114.01	113.71	
	Low	113.64	113.66	113.58	113.30	113.10	
	NY 17:00	113.82	113.84	113.83	113.62	113.62	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1368	1.1325	1.1223	1.1311	1.1313	
	High	1.1369	1.1330	1.1294	1.1348	1.1363	
	Low	1.1317	1.1216	1.1217	1.1263	1.1271	
	NY 17:00	1.1336	1.1219	1.1288	1.1310	1.1331	
ユーロ/円	東京9:00	129.56	128.94	127.59	128.75	128.47	
	High	129.64	129.17	128.73	129.23	129.04	
	Low	128.74	127.66	127.50	128.14	127.78	
	NY 17:00	129.02	127.70	128.47	128.49	128.63	
日経平均株価		22,250.25	22,269.88	21,810.52	21,846.48	21,803.62	
TOPIX		1,672.98	1,671.95	1,638.45	1,641.26	1,638.97	
NYダウ工業株30種平均		25,989.30	25,387.18	25,286.49	25,080.50	25,289.27	
NASDAQ		7,406.90	7,200.87	7,200.88	7,136.39	7,259.03	
日本10年債		0.12%	0.12%	0.11%	0.11%	0.11%	
米国10年債		3.18%	-	3.14%	3.13%	3.11%	
原油価格(WTI)		60.19	59.93	55.69	56.25	56.46	
金(NY)		1,209.85	1,200.36	1,202.22	1,210.85	1,213.40	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、20日(火)に10月住宅着工件数が発表される。9月の住宅着工件数は前月比▲5.3%の年率+120.1万件と大幅に減少し、8月の着工件数も年率128.2万件から126.8万件に下方修正された。地域別では、最大市場の南部が前月比▲13.7%と大きく落ち込んだ。南部を除くと、住宅着工件数は前月比+3.8%となっており、ハリケーン・フロレンスの直撃が一定の影響を及ぼしたとみられる。10月はハリケーン・マイケルがフロリダ州に上陸したことから、南部の着工件数は2か月連続でハリケーンの影響を受ける可能性がある。大型ハリケーン襲来後は、復興活動で住宅建設が押し上げられるとみられるものの、住宅ローン金利の上昇や住宅価格の高騰など構造的な要因により住宅市場は抑制されるだろう。10月の住宅着工は前月比+2.0%の年率+123.0万件、住宅建設許可件数は前月比▲0.8%の年率+126.0万件と予測されている。また、翌21日(水)には10月中古住宅販売の発表が予定されている。9月は前月比▲3.4%の年率+515万件と6か月連続で減少した。先行指標である9月中古住宅販売留保指数は前月比+0.5%と3か月ぶりに上昇したが、中古住宅在庫率は4.4か月と引き続き低位にとどまっており、引き続き供給が不足していることが窺える。また、住宅ローン金利は一段と上昇しており、10月中古住宅販売は前月比+1.0%の年率+520万件と、7か月ぶりの増加する見通しだが、大幅な改善は見込めなそう。金融政策関連では、今晚にエバンズ・シカゴ連銀総裁、週明け19日(月)にはウィリアムズNY連銀総裁の講演などが予定されている。
- ・本邦では、19日(月)に10月貿易統計の発表がある。10月上中旬(1～20日)分の貿易統計では、輸出は前年比+9.2%(9月上中旬:同+1.0%)、輸入は同+14.8%(9月上中旬:同+17.2%)となり、貿易収支は▲3967億円の赤字となった。報道によれば、輸出は船舶、自動車、半導体等電子部品などが増加し、輸入は液化天然ガス(LNG)、原油及び粗油、衣類・同付属品などの品目が増えたようだ。10月下旬の営業日数は昨年より1日多いことから、10月全体では上中旬を上回る伸びが期待されるものの、市場では10月全体の輸出は同+9.1%、輸入は同+14.0%と幾分弱めの数字が見込まれている。また、貿易収支は▲500億円の赤字、季節調整値では▲1310億円の赤字と予想されている。

	本 邦	海 外
11月16日(金)	—————	・米10月生産者物価指数 ・米11月ミシガン大学消費者マインド(速報値)
19日(月)	・10月貿易統計	—————
20日(火)	—————	・米10月住宅着工
21日(水)	—————	・米10月耐久財受注 ・米10月景気動向指数 ・米11月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・米10月中古住宅販売
22日(木)	・10月全国消費者物価	—————
23日(金)	勤労感謝の日	・独7～9月期GDP(確報) ・ユーロ圏11月製造業/サービス業PMI(速報)

【当面の主要行事日程(2018年11月～)】

米FOMC(12月18～19日、1月29～30日、3月19～20日)
 ECB政策理事会(12月13日、1月24日、3月7日)
 日銀金融政策決定会合(12月19～20日、1月22～23日、3月14～15日)
 20か国・地域(G20)首脳会議(11月30日～12月1日)
 EU首脳会議(12月13～14日)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

経済指標カレンダー(2018年11月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 自動車販売台数(10月) 米国 建設支出(9月) 米国 ISM製造業景気指数(10月)	2 日本 マネタリーベース(10月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、10月) 米国 貿易収支(9月) 米国 雇用統計(10月) 米国 失業率(10月) 米国 耐久財受注(確報、9月) 米国 製造業受注(確報、9月)	
5	6 ドイツ 製造業受注(9月) ユーロ圏 サービス業PMI(確報、10月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	7 日本 毎月勤労統計(9月) 日本 景気動向指数(速報、9月) ドイツ 鉱工業生産(9月) 米国 消費者信用残高(9月) 米国 FOMC(～8日)	8 日本 国際収支(9月) 日本 貸出・預金動向(10月) 日本 景気ウォッチャー調査(10月) ドイツ 貿易収支(9月)	9 日本 マネーストック(10月) 米国 生産者物価(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、11月) 米国 卸売売上高(9月)	
12 日本 国内企業物価(10月)	13 ドイツ 消費者物価(確報、10月) 米国 財政収支(10月)	14 日本 GDP(速報、7～9月期) 日本 第三次産業活動指数(9月) 日本 鉱工業生産(確報、9月) ドイツ GDP(速報、7～9月期) ドイツ 鉱工業生産(9月) ユーロ圏 GDP(速報、7～9月期) ユーロ圏 消費者物価(10月)	15 ユーロ圏 貿易収支(9月) 米国 小売売上高(10月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(11月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(11月) 米国 企業在庫(9月)	16 ユーロ圏 消費者物価指数(確報、10月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル) 米国 鉱工業生産(10月)	17 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(9月)
19 日本 貿易収支(10月)	20 米国 住宅着工(10月)	21 米国 耐久財受注(速報、10月) 米国 製造業受注(速報、10月) 米国 景気先行指数(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、11月) 米国 中古住宅販売(10月)	22 日本 全国消費者物価(10月)	23 日本 勤労感謝の日 ドイツ GDP(確報、7～9月期) ユーロ圏 製造業PMI(速報、11月) ユーロ圏 サービス業PMI(速報、11月)	
26 日本 景気動向指数(確報、9月) ドイツ IFO企業景況指数(11月) 米国 シカゴ連銀全米活動指数(10月)	27 日本 企業向けサービス価格(10月) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(9月) 米国 消費者信頼感指数(11月)	28 米国 GDP(2次速報、7～9月期) 米国 個人消費(2次速報、7～9月期) 米国 PCEコアデフレーター(2次速報、7～9月期) 米国 新築住宅販売(10月)	29 ドイツ 消費者物価(速報、11月) 米国 個人消費・所得(10月) 米国 FOMC議事要旨(11月7～8日開催分)	30 日本 失業率(10月) 日本 東京都部消費者物価(11月) 日本 鉱工業生産(速報、10月) 日本 新設住宅着工(10月) ユーロ圏 失業率(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(速報、11月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(11月) ブエノスアイレス(アルゼンチン) G20首脳会議(～12月1日)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2018年12月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 自動車販売台数(11月) ユーロ圏 製造業PMI(確報、11月) 米国 建設支出(10月) 米国 ISM製造業景気指数(11月)	4 日本 マネタリーベース(11月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	5 ユーロ圏 サービス業PMI(確報、11月) 米国 ADP雇用統計(11月) 米国 ページュブック	6 ドイツ 製造業受注(10月) 米国 貿易収支(10月) 米国 耐久財受注(確報、10月) 米国 製造業受注(確報、10月)	7 日本 毎月勤労統計(10月) 日本 景気動向指数(速報、10月) ドイツ 鉱工業生産(10月) ユーロ圏 GDP(確報、7～9月期) 米国 雇用統計(11月) 米国 失業率(11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、12月) 米国 卸売売上高(10月) 米国 消費者信用残高(10月)	
10 日本 GDP(確報、7～9月期) 日本 国際収支(10月) 日本 貸出・預金動向(11月) 日本 景気ウォッチャー調査(11月) ドイツ 貿易収支(10月)	11 日本 マネーストック(11月) 米国 生産者物価(11月)	12 日本 国内企業物価(11月) 日本 第三次産業活動指数(10月) ユーロ圏 鉱工業生産(10月) 米国 消費者物価(11月) 米国 財政収支(11月)	13 ドイツ 消費者物価(確報、11月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) EU首脳会談(～14日)	14 日本 日銀短観(10～12月期) 日本 鉱工業生産(確報、10月) 米国 小売売上高(11月) 米国 鉱工業生産(11月) 米国 企業在庫(10月)	
17 ユーロ圏 貿易収支(10月) ユーロ圏 消費者物価指数(確報、11月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(12月)	18 米国 TICレポート(対外対内証券投資)(10月) ドイツ IFO企業景況指数(12月) 米国 住宅着工(11月) 米国 FOMC(～19日)	19 日本 貿易収支(11月) 日本 金融政策決定会合(～20日) 米国 中古住宅販売(11月)	20 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(12月) 米国 景気先行指数(11月)	21 日本 全国消費者物価(11月) 米国 個人消費・所得(11月) 米国 GDP(3次速報、7～9月期) 米国 個人消費(3次速報、7～9月期) 米国 PCEコアデフレーター(3次速報、7～9月期) 米国 耐久財受注(速報、11月) 米国 製造業受注(速報、11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、12月)	
24 日本 振替休日 米国 シカゴ連銀全米活動指数(11月)	25 日本 企業向けサービス価格(11月) 日本 景気動向指数(確報、10月)	26 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(10月)	27 日本 新設住宅着工(11月) 米国 新築住宅販売(11月) 米国 消費者信頼感指数(12月)	28 日本 失業率(11月) 日本 東京都都区消費者物価(12月) 日本 鉱工業生産(速報、11月) ドイツ 消費者物価(速報、12月)	
31 日本 大晦日 米国 シカゴ購買部協会景気指数(12月)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuohobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuohobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2018年11月15日	メイ首相、最後の戦いへ～「外」から「内」へ～
2018年11月14日	ドル/円相場、現水準をどう理解すべきか
2018年11月13日	四面楚歌のユーロ相場～「5つの不安」～
2018年11月12日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2018年11月9日	週末版(米中間選挙の見通しへの影響～不透明感後退も見通し大勢に影響なし～)
2018年11月8日	メンツを賭けた「7.0防衛」の危うさ～外準減少を受けて～
2018年11月7日	示唆される世界経済の先行き減速懸念～PMIとCJII～
2018年11月6日	露わになるユーロ圏の経済減速～注目されるECBの挙動～
2018年11月5日	米景気改善の「きわみ」～悩ましい貯蓄率の読み方～
2018年11月2日	週末版(ドル相場の近況に思うこと～ドル高の背景と今後の勘所～)
2018年10月30日	「メルケルなきEU」の幕開け～理想主義の後始末へ～
2018年10月29日	メインシナリオへのリスク点検～「高値波乱含み」という警告～
2018年10月26日	週末版(ECB政策理事会を終えて～不安を煽るECBの強気～)
2018年10月25日	ECB政策理事会プレビュー～再投資方針の行方～
2018年10月24日	「安全資産としての円買い」が勢いつかない理由
2018年10月23日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年9月分)
2018年10月19日	週末版(FOMC議事要旨を受けて～「鏡に映った自分」に踊るFRBの危うさ～)
2018年10月18日	為替政策報告書を受けて～抜きん出た中国の取り扱い～
2018年10月17日	ブレグジットを巡る近況整理～曖昧な危機認識～
2018年10月16日	ユーロ相場と資本フローの近況
2018年10月15日	為替条項要求の冷静な読み方～底うほど弱点として露呈～
2018年10月12日	週末版(国際と信統計が示唆するドル高リスク～ドル建て債務を如何に軟着陸させるべきか～)
2018年10月11日	NYダウ平均株価の大幅調整について～起こるべくして……～
2018年10月10日	ベシス上昇と米金利上昇とドル/円上昇の関係
2018年10月9日	米9月雇用統計を受けて～「想定外の加速」は継続中～
2018年10月5日	週末版(ECBが迎える「未知の世界」～緊縮下での金融引き締め～)
2018年10月4日	ドイツ化するユーロ圏～求められる正しい陣頭指揮～
2018年10月3日	イタリア政局の整理～今回ばかりはイタリアに言い分も～
2018年10月2日	外国人労働者受け入れ拡大～昔「円高是正」、今「人手不足」～
2018年10月1日	円高見通しが実現していない理由
2018年9月28日	週末版
2018年9月27日	FOMCを終えて～見えてきた転換点～
2018年9月25日	メインシナリオへのリスク点検～オーバーキルを巡る見解～
2018年9月21日	週末版
2018年9月20日	安倍首相による緩和撤退宣言～言うは易し……だが～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年8月分)
2018年9月19日	市場は「返り血」を浴びるまで分らないのか？
2018年9月18日	基軸通貨ユーロという「見果てぬ夢」～機能面からの再考～
2018年9月14日	週末版(ECB政策理事会を終えて～再投資方針とユーロ高に対するヒントあり～)
2018年9月13日	突然の基軸通貨宣言をどう読むか～ユンケル発言について～
2018年9月12日	続・リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2018年9月10日	リーマン10年で注目される次のショックの「芽」
2018年9月7日	週末版(「次の標的は日本」の本気度～第2回日米貿易協議(FFR)を前に～)
2018年9月6日	軟化を続けるソフトデータ～皮肉な米経済の好調～
2018年9月5日	ECB利上げを巡り政治的な動き？～ECOFINのテーマに～
2018年9月4日	主要通貨で「膠着」が続く理由～銀寄せは新興国に～
2018年9月3日	「保護主義は中間選挙まで」という危うい楽観
2018年8月31日	週末版
2018年8月29日	米国株独り勝ちをどう読むか？～BISビューに基づく抑制へ～
2018年8月28日	メインシナリオへのリスク点検～高まる欧州政治リスク～
2018年8月27日	ECB総裁が欧州委員長か～メルケル独首相の憂心～
2018年8月24日	週末版
2018年8月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年7月分)
2018年8月17日	週末版(2018年上半期の対米資本フローの整理～色褪せる「カネ余り」、「ゴルドイロックス」～)
2018年8月15日	イタリア国債利回りの急騰～もう1つの潜在的危機～
2018年8月14日	第二次資本流出局面が始まったのか？
2018年8月13日	トルコショックの真の脅威は「欧州難民危機」の再燃
2018年8月10日	週末版
2018年8月9日	ポンド安が支えるユーロ堅調～元安、トルコリラ安も～
2018年8月8日	2018年上半期の円相場の基礎的需給環境
2018年8月7日	中国の米国債売却はあり得るのか？
2018年8月6日	ソフトデータが暗示する世界経済失速
2018年8月3日	週末版(BOE利上げの正しい読み方～市場の本音は「理解に苦しむ」～)
2018年8月2日	FOMCを終えて～肅々とオーバーキルを予想～
2018年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて～いつまでもチャンスは無い～
2018年7月30日	メインシナリオへのリスク点検～いいよ「伝家の宝刀」？～
2018年7月27日	週末版(ECB政策理事会を終えて～金利ガイダンスの正しい読み方～)
2018年7月26日	日銀正常化観測と日米貿易協議(FFR)の関係性
2018年7月20日	週末版(「グレートモデレーション」再来を疑う時～「保険の売り」は慢心の表れ～)
2018年7月19日	危うい「理由なきドル/円上昇」～金利・物価情勢は支持せず～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年6月分)
2018年7月17日	貿易戦争懸念と為替市場の現状～一部市場に異変も～
2018年7月13日	週末版(「新興国市場の混乱」と「炭鉱のカナリア」～米国のクレジットブレードは着実に拡大中～)
2018年7月12日	ドイツ住宅市場の現状と展望～見過ごされる「バブルの芽」～
2018年7月10日	混迷を深めてきた英国のEU離脱プロセス～論点整理～
2018年7月9日	米中間開の時～欧州も巻き込み貿易大戦の様相か？～
2018年7月6日	週末版
2018年7月5日	ECBを待ち受ける陰路～「試練の秋」～
2018年7月4日	EUが迎える新たな危機～債務危機から難民危機へ
2018年7月3日	米中貿易摩擦の読み方～「返り血」は避けたい米国～
2018年7月2日	2018年上半期を終えて～予測の王道は変わらず～
2018年6月29日	週末版
2018年6月27日	メインシナリオへのリスク点検～再び先鋭化した保護主義～
2018年6月26日	またも生き残ったメイ英首相～EU離脱法案の成立～
2018年6月22日	週末版
2018年6月21日	ユーロ圏共通予算を阻むメルケル政権の危機
2018年6月20日	「ユーロ危機2.0」への警告～米国とイタリアの挟撃～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年5月分)
2018年6月19日	改めて整理する「中立金利との距離感」～分水嶺～
2018年6月15日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「APPIはタカ派」、「利上げはハト派」の折衷案～)
2018年6月14日	FOMCを終えて～「後ろめたさ」を抱きつつの運営に～